令和4年度　ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 三潴中学校プラン

《学校の教育目標》仲間と未来を語り、共に未来を創る力を身につけた生徒の育成
〈本年度 学校の重点目標〉主体的に学び、夢に向かって、仲間とともに粘り強く挑戦し続ける生徒の育成

知識及び技能を習得し、これまでの学習と関連づけ、生活場面にいかすことができる。
【つくる力】

課題を追求し、個別で探究的に学んだり、他者と話し合いながら解決したりすることができる。
【つなぐ力】

夢や目標を持ち、自ら進んで、それに向かって心身を鍛え、諦めずに挑戦しようとする。
【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

①学力向上プラン「視点2」に記載

②「みづまスタイル」（単元1回以上）、「書く活動」（毎時間）を取り入れた授業づくりを行う。

③ Chromebook等のICT機器を活用して、教材の提示、情報収集や学習活動等の記録を行う。（1日3回以上）

【成果指標】「 Chromebook を活用している。授業の内容がよくわかる」と答える生徒の割合が80%以上

④英語科の授業において、コミュニケーション活動に関わる4技能の充実を図る。（毎時間）

⑤校内研修会の充実や全員授業研による教師力の向上を図る。

笑顔の先生

①学力向上プラン「視点4」に記載

②会議の時間厳守と資料事前配布による効率化を図る。（毎月）

【成果指標】「先生は自分の話をしっかり聞いてくれる」と答える生徒の割合が80%以上

協働する学校・家庭・地域

①地域学校協議会プラン「提言①」参照

②地域学校協議会プラン「提言②」参照

③学力向上プラン「視点4」に記載

楽しい学校

①「くるめアクションプラン」に基づき、全職員で対応を徹底する。（毎日）
いじめ・不登校対策委員会でケースに応じた対応策を検討し、全職員で共有する。（毎週）
学校生活の状況や日常の悩みを把握し、解決をめざす教育相談活動を行う。（毎学期）
【成果指標】不登校数が10人以下、いじめの認知件数が10%増加、100%解消

②交通ルールの遵守や防災・減災教育の充実、道徳教育や人権学習を通して「自他の生命を尊重する意識と態度」「あらゆる差別をなくしていく意識と態度」を高める取組を行う。（毎学期）

③Q-Uの活用やブロック活動を通して、自尊感情と帰属意識の高揚を図る。（毎学期）
行動目標（時・場・礼）が定着できるよう生徒会活動との連携を図る。（毎月）

【体力向上】

①保健体育科の授業で、柔軟性・持久性・瞬発性を強化するサーキットトレーニングを実施する。（毎時間）

②三潴中体力向上タイム（**「1校1取組」運動**）
（体幹を鍛える：腕立て伏せ・スクワットの実施）
・体力アップシート活用率：目標100%

【あいさつ・そうじ・自学自習】

①生徒会活動による朝の挨拶運動の実施（毎日）

②「無言清掃」の実施、整美委員による評価（毎日）

③家庭学習習慣化のため、自学ノートの点検や個別の指導助言を行う（毎日）定期考査に合わせて、スローメディアを中学校区での取組とする。（年4回）

基盤として大切にすること（本年度の重点）

【人権・同和教育】社会の中にある差別に気付き、主体的に差別を解決しようとする生徒を育てる
〔要綱Ｐ　～参照〕

【特別支援教育】特別な教育的支援が必要な生徒の教育支援計画と指導計画の作成、学年職員やコーディネーターによる協働的な支援を行う〔要綱Ｐ　～参照〕

【キャリア教育】「キャリアパスポート」を活用して、自己のキャリア形成を図る。〔要綱Ｐ　～参照〕